

守谷市中期財政計画

〈令和4年度～令和8年度〉

【令和7年度ローリング版】

令和8年2月

守谷市

目 次

第1章 計画の基本的な考え方.....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 計画の位置付け.....	1
3 計画の期間.....	1
4 計画の見直し.....	1
5 会計単位.....	1
第2章 令和7年度推計額と予算額との比較.....	2
1 歳入の比較.....	2
2 歳出の比較.....	5
第3章 財政収支見通しの比較.....	7
第4章 目標指標の達成状況.....	10

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

「守谷市中期財政計画」は、「第三次守谷市総合計画」（計画期間：令和4年度から令和13年度）の期間における歳入の予測、各種計画と連携した歳出の見通し及び投資の結果としての将来負担を示すことで、総合計画を財政的視点で支えるものです。

財政計画は総合計画の実効性をより高めるものであり、計画的で持続可能な財政運営を行うための指針となるものです。

2 計画の位置付け

本計画は、「第三次守谷市総合計画前期基本計画」（計画期間：令和4年度から令和8年度）における収支見通しを示し、併せて実施予定事業の財源を裏付けるものです。

3 計画の期間

「第三次守谷市総合計画前期基本計画」の期間を踏まえ、本計画の期間は令和4年度から令和8年度までの5年間としますが、財政の将来推計としては向こう10年間（令和7年度は令和8年度から令和17年度）を対象に行います。

4 計画の見直し

本計画の実効性を高めるため、社会経済情勢の変化や各種計画の進捗状況等を踏まえ、数値について毎年度見直しを行い、第三次守谷市総合計画前期基本計画との整合性を図ります。

5 会計単位

対象会計は一般会計とし、歳入は目的（財源）別、歳出は性質別に推計しています。
また、各年度の当初予算額を推計値としています。

第2章 令和8年度推計額と予算額との比較

令和7年2月に見直した「守谷市中期財政計画【令和6年度ローリング版】」において推計した令和8年度推計額と、確定した令和8年度当初予算額を比較すると、令和8年度予算は、推計額と比較して14億円の増となりました（ふるさとづくり寄附金に係る歳入・歳出は除く）。

令和6年度ローリング版で推計した以上に人件費、物件費等が増額になったこと、松ヶ丘六丁目地内事業用地建物改修事業の新規計上などにより、推計額からは増となっています。

1 歳入の比較

市税、国・県支出金、繰入金が増、譲与税・交付金、市債が減となりました。

（単位：百万円）

区 分／年 度		R6 年度推計	R8 年度予算	比較
歳入	一般財源	16,020	16,395	+375
	市税	12,448	12,878	+430
	譲与税・交付金	3,572	3,517	△55
	国・県支出金	8,316	8,378	+62
	市債	2,655	2,505	△150
	その他の収入	1,680	1,801	+121
	小 計	28,671	29,088	+417
	財政調整基金繰入金	2,501	2,540	+39
	公共公益施設整備基金繰入金	0	400	+400
	ふるさとづくり基金繰入金	2,038	2,595	+557
	歳入合計	33,210	34,623	+1,413

【主な増減内容】

（1）市税

- ・課税実績を踏まえた所得割の増額見込による個人市民税の増（+4.2億円）

（2）譲与税・交付金

- ・配当割交付金の増（+0.4億円）
- ・地方消費税交付金の増（+1.6億円）
- ・税制改正に伴う地方特例交付金の増（+0.3億円）
- ・普通交付税の減（△3.0億円）

(3) 国・県支出金

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の減 (△0.5 億円)
- ・障害者自立支援給付事業の増 (国：+0.7 億円、県：+0.4 億円)
- ・子ども・子育て支援給付事業の増 (国：+1.6 億円、県：+0.5 億円)
- ・総合公園新設事業の増 (+0.5 億円)
- ・みずき野大日線整備事業の増 (+0.7 億円)
- ・事業期間の見直しによる新守谷駅周辺土地区画整理事業の減 (△1.5 億円)

(4) 市債

- ・市役所庁舎改修事業債の減 (△2.7 億円)
- ・スマート IC 整備推進事業債の増 (+5.9 億円)
- ・西口大柏線整備事業債の減 (△1.2 億円)
- ・みずき野大日線整備事業債の減 (△0.5 億円)
- ・総合公園新設事業債の増 (+0.5 億円)
- ・新守谷駅周辺土地区画整理事業債の増 (+0.9 億円)
- ・松前台小学校校舎改修事業債の増 (+3.4 億円)
- ・松ヶ丘小学校校舎改修事業債、守谷中学校体育館改修事業債の皆減 (△6.4 億円)
- ・中央図書館改修事業の増 (+1.1 億円)
- ・臨時財政対策債の皆減 (△1.7 億円)

【市債残高の推計】

(単位：億円)

	R7 見込	R8 推計	R9 推計	R10 推計	R11 推計
R6 ローリング時	171.2	187.3	197.9	208.1	213.3
R7 見直し後	169.5	187.0	194.8	218.5	244.8

※残高は元金のみで利子は含まない。R7 見込には R8 への繰越見込額を除いている。

現在の推計では令和 13 年度 (計画期間外) に市債残高のピーク (301.5 億円) を迎える見込みです。

スマート IC 整備推進事業や総合公園新設事業の具体化により、令和 10 年度以降の借入額が大幅に増加する見込みとなったため、推計時点と比べてピークが 1 年後ろ倒しになり、残高自体も大きく増額となっています (R6 ローリング比+85.6 億円)。

(5) その他の収入

- ・社会保険被保険者負担金の増 (+0.1 億円)
- ・金利上昇による預金利子の増 (+0.1 億円)
- ・中学校 ICT 事業に係る iPad 売却代の増 (+0.1 億円)

6) 繰入金

- 財政調整基金繰入金の増 (+0.4 億円)
- 松ヶ丘六丁目地内事業用地建物改修事業に伴う公共公益施設整備基金繰入金の増 (+4.0 億円)
- 重点事業の実施に伴うふるさとづくり基金繰入金の増 (+5.6 億円)
(主な事業)
 - 松ヶ丘六丁目地内事業用地建物改修事業 (+1.6 億円)、スマート IC 整備推進事業 (+0.6 億円)、図書館システム更新 (+1.2 億円)

2 歳出の比較

人件費、公債費、物件費、普通建設事業費が増、扶助費が減となりました。

(単位：百万円)

区 分／年 度		R6 年度推計	R8 年度予算	比較
歳出	義務的経費	15,664	15,204	△460
	人件費	4,953	5,114	+161
	扶助費	9,114	8,843	△271
	公債費	1,197	1,247	+50
	他会計・基金借入金返済	400	0	△400
	物件費	6,087	7,476	+1,389
	その他の支出	5,810	6,180	+370
	普通建設事業費	5,649	5,763	+114
	歳出合計	33,210	34,623	+1,413

【主な増減愛用】

(1) 人件費

- ・給与改定等による職員給の増 (+1.0 億円)
- ・給与改定等による会計年度任用職員に係る報酬・手当の増 (+0.8 億円)

(2) 扶助費

- ・障害者自立支援給付事業の増 (+1.4 億円)
- ・医療費助成事業の減 (△0.4 億円)
- ・子ども・子育て支援給付事業の減 (△0.4 億円)
- ・児童手当支給事業の減 (△1.6 億円)
- ・生活保護事業の減 (△0.4 億円)

(3) 公債費

- ・借入予定の起債に対する金利上昇を見込んだ定時償還額の増

(4) 物件費

- ・推計時に見込んでいなかった事業の計上による増

(主な事業)

ヤクルト 2 軍施設進出に伴う地域活性化事業 (+0.4 億円)

松ヶ丘六丁目地内事業用地建物改修事業 (実施設計) (+0.5 億円)

- ・庁内ネットワーク関連経費の増 (システム標準化・住民 CRM ランニング) (+0.9 億円)
- ・塵芥収集事業の増 (+0.5 億円)

- 公園管理業務の増（管理コストを減らすための臨時伐採等分）（+0.7 億円）
- 児童クラブ運営事業の増（+0.7 億円）
- 給食提供事業の増（賄材料費の高騰）（+1.3 億円）
- 図書館運営管理事業の増（システム更新）（+2.2 億円）

（5）その他の支出

- 橋梁長寿命化修繕事業の増 [維持補修費]（+1.1 億円）
- 常総地方広域市町村圏事務組合負担金の増 [補助費等]（+1.2 億円）

（6）普通建設事業費

- みずき野市内市有地活用事業の減（建物解体費用の皆減）（△0.9 億円）
- 松ヶ丘六丁目地内事業用地建物改修事業の皆増（+5.2 億円）
- 総合公園新設事業の増（+1.0 億円）
- 新児童センター建設事業の皆減（計画時期見直し）（△2.9 億円）
- 道路新設改良事業の減（△1.1 億円）
- 事業期間の前倒しによるスマート IC 整備推進事業の増（+6.3 億円）
- みずき野大日線整備事業の増（+1.3 億円）
- 事業期間の変更による新守谷駅周辺土地区画整理事業の減（△2.5 億円）
- 事業期間の変更による大野地区土地区画整理事業の減（△1.3 億円）
- 事業計画の変更による松ヶ丘小学校校舎改修事業の皆減（△4.7 億円）
- 事業計画の変更による守谷中学校体育館改修事業の皆減（△4.4 億円）
- 事業計画の変更による松前台小学校校舎改修事業の皆増（+5.5 億円）
- 中央図書館大規模改修事業の増（+1.8 億円）

第3章 財政収支見通しの比較

令和7年度中に新たに判明した増減要因に加え、最新の人口推計や令和8年度予算額を踏まえ、歳入・歳出及び収支の見通しをローリングしました。

【ローリング前】

(単位：百万円)

区分/年度		R3 予算	R4 予算	R5 予算	R6 予算	R7 予算	R8 推計
歳出	義務的経費	11,951	12,077	11,864	13,551	15,433	15,664
	人件費	3,999	4,058	4,234	4,406	4,963	4,953
	扶助費	6,570	6,682	6,734	7,453	8,877	9,114
	公債費	1,079	1,033	1,041	1,071	1,193	1,197
	関公費	303	304	135	21	0	0
	他会計・基金借入金返済	0	0	0	600	400	400
	物件費	5,650	5,073	6,599	6,295	6,840	6,087
	その他の支出	4,712	4,799	5,566	5,413	5,991	5,810
	普通建設事業費	5,653	4,366	3,816	3,729	5,158	5,649
	歳出合計 ①	27,966	26,315	28,124	28,988	33,422	33,210
歳入	一般財源	13,634	14,693	14,731	15,062	15,599	16,020
	市税	11,356	12,107	12,084	12,272	12,427	12,448
	譲与税・交付金	2,278	2,586	2,647	2,790	3,172	3,572
	国・県支出金	6,829	6,212	6,177	6,331	8,014	8,316
	市債	3,512	1,685	2,164	2,242	2,634	2,655
	その他の収入	1,199	1,238	1,404	1,518	1,911	1,680
	小計	25,174	23,828	24,476	25,153	28,158	28,671
	財政調整基金繰入金	1,205	927	1,556	1,673	2,688	2,501
	公共公益施設整備基金繰入金	140	109	126	0	0	0
	ふるさとづくり基金繰入金	1,150	1,451	1,966	2,162	2,576	2,038
歳入合計 ②	27,966	26,315	28,124	28,988	33,422	33,210	
収支(②-①)		0	0	0	0	0	0
財政調整基金残高(年度末)		3,587	4,084	4,541	5,269	4,314	3,499
公共公益施設整備基金残高		1,683	1,574	1,450	1,450	1,450	1,450

※赤字は確定値



【ローリング後】

(単位：百万円)

区分/年度		R3 予算	R4 予算	R5 予算	R6 予算	R7 予算	R8 予算
歳出	義務的経費	11,951	12,077	11,864	13,551	15,433	15,204
	人件費	3,999	4,058	4,234	4,406	4,963	5,114
	扶助費	6,570	6,682	6,734	7,453	8,877	8,843
	公債費	1,079	1,033	1,041	1,071	1,193	1,247
	関公費	303	304	135	21	0	0
	他会計・基金借入金返済	0	0	0	600	400	0
	物件費	5,650	5,073	6,599	6,295	6,840	7,476
	その他の支出	4,712	4,799	5,566	5,413	5,991	6,180
	普通建設事業費	5,653	4,366	3,816	3,729	5,158	5,763
	歳出合計 ①	27,966	26,315	28,124	28,988	33,422	34,623
歳入	一般財源	13,634	14,693	14,731	15,062	15,599	16,395
	市税	11,356	12,107	12,084	12,272	12,427	12,878
	譲与税・交付金	2,278	2,586	2,647	2,790	3,172	3,517
	国・県支出金	6,829	6,212	6,177	6,331	8,014	8,378
	市債	3,512	1,685	2,164	2,242	2,634	2,505
	その他の収入	1,199	1,238	1,404	1,518	1,911	1,810
	小計	25,174	23,828	24,476	25,153	28,158	29,088
	財政調整基金繰入金	1,205	927	1,556	1,673	2,688	2,540
	公共公益施設整備基金繰入金	140	109	126	0	0	400
	ふるさとづくり基金繰入金	1,150	1,451	1,966	2,162	2,576	2,595
	歳入合計 ②	27,966	26,315	28,124	28,988	33,422	34,623
収支(②-①)	0	0	0	0	0	0	
財政調整基金残高(年度末)	3,587	4,084	4,541	5,268	4,524	3,655	
公共公益施設整備基金残高	1,683	1,574	1,450	1,450	1,454	1,063	

※赤字は確定値

令和7年度ローリング版では、物価高騰を受けた人件費や物件費の増、松ヶ丘六丁目地内事業用地内建物の改修工事の新規計上などにより、令和8年度の予算規模はローリングの前後で約14億円拡大しています。

歳出規模が拡大したものの、社会情勢を受けた市税の増額も見込まれるため、財政計画で定めた目標指標は達成できる状況にあります。

しかしながら、計画期間後の令和9年度以降には、総合公園やスマートICなどの大型事業、常総環境センターの改修事業に伴う常総地方広域市町村圏事務組合への負担金の増などが見込まれ、令和9年度以降の推計によると、市税の伸び次第では財政調整基金が早い時期に底を付くという事態が想定されています。

財源を確保するためには、経常経費の抑制を喫緊の課題として認識し、危機感を持って早期に行政全体のダウンサイジングに取り組む必要があります。

この状況を乗り越えるためには、もはや対症療法的な改善では不十分であり、今こそ全庁を挙げた抜本的な改革が不可欠という強い危機感を皆で共有しなければなりません。

令和9年度以降を対象とする次期計画において、その趣旨を反映させていきます。

第4章 目標指標の達成状況

(1) 財政調整基金残高

財政調整基金残高に係る目標指標

令和8年度末において、最低でも残高27億円の確保を目標とする。

【R6 ローリング時の推計値】

	R4 実績	R5 実績	R6 見込	R7 推計	R8 推計
財政調整基金残高	40.8 億円	45.4 億円	52.7 億円	43.1 億円	35.0 億円



【R7 ローリング後の推計値】

	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 見込	R8 推計
財政調整基金残高	40.8 億円	45.4 億円	52.7 億円	45.2 億円	36.6 億円

令和6年度歳計剰余金の財政調整基金への積立額が見込みよりも少なくなりました（16.9億円→14.9億円）が、市税や普通交付税の伸びにより、令和7年度末残高が増額になる見込みです。令和8年度の繰入額が推計とほぼ変わらないこともあり、令和8年度末残高は増額になっています。

(2) 公共公益施設整備基金残高

公共公益施設整備基金残高に係る目標指標

20年後に今後の更新費用を見据えた残高40億円を確保するため、令和8年度末において、最低でも残高10億円の確保を目標とする。
--

【R6 ローリング時の推計値】

	R4 実績	R5 実績	R6 見込	R7 推計	R8 推計
公共公益施設整備基金残高	15.7 億円	14.5 億円	14.5 億円	14.5 億円	14.5 億円



【R7 ローリング後の推計値】

	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 見込	R8 推計
公共公益施設整備基金残高	15.7 億円	14.5 億円	14.5 億円	14.5 億円	10.6 億円

令和 8 年度に松ヶ丘六丁目地内事業用地建物改修事業の財源として 4 億円繰り入れることとしたため、令和 8 年度末残高見込が減額になっています。目標値を達成できる範囲での繰入を計画していますので、目標値は達成できる見込みです。

(3) 実質公債費比率
実質公債費比率に係る目標指標

毎年度、令和 2 年度の県内市平均 6.5%以下を目標とする。

【実績値】

	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
実質公債費比率	4.2%	4.5%	4.4%	4.0%

実質公債費比率は決算額に基づいて算出するため、令和 6 年度の実績値は現時点では未確定です。現在最新の実績値である令和 6 年度の比率は、4.0%（3 箇年平均）となりました。